

読まんなかね

おはなし会 ～ろうそくの灯りのもとで～

11月の最後の夜、ストーリーテリングの会がありました。すてきなろうそく立てにたくさんのろうそくを灯し、優しい光に包まれてのおはなし会となりました。この日は3人の方がお話を語りました。ストーリーテリングは初挑戦という方からベテランの方と経験は様々でしたが、どのお話もとても魅力的で惹き込まれました。夜ということもあり、参加者が少なかったのが残念でしたが、今後もこのような機会を設け、たくさんの方にストーリーテリングの魅力を伝えられたらいいなと思ったおはなし会でした。

ストーリーテリングとは・・・

文学作品を主に声によって表現し、それを聞き手とともに楽しむこと。

子どもころ、両親や祖父母のお話に夢中になった経験はありませんか？絵本での読みきかせとは違い、声だけが頼りのストーリーテリングはより想像力を豊かにし、情操を育てるといわれています。大人の方でも楽しめるものです。

お近くの公民館から図書館のが借りられます

町村合併後、都万・五箇・布施・中村地区の皆様へのサービス充実のために各地区の公民館(中村は支所)から隠岐の島町図書館の本を借りることが出来るようになっていきます。読みたい本を図書館、もしくは公民館の方へ電話などでお申し込みください。図書館で貸出手続きを行い、お近くの公民館までお届けします。公民館まで本が届くと、利用者の方へ連絡がいくようになっていきます。あとは公民館まで取りに行くだけです。なお、このサービスには図書館の利用者登録が必要です。

五箇公民館に配本開始！！

12月1日から五箇公民館に図書館の本を500冊置いていきます。年に4回入れ替えをする予定です。普段、図書館までは行かないという方も、公民館で気軽に本を借りることができます。仕事帰りにでも立ち寄ってみてください。利用者登録も五箇公民館で申し込みます。

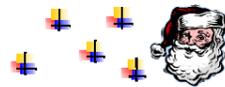
特集コーナー

今月の特集 「オリジナル年賀状」

最近パソコンで簡単にできていますが、敢えて手作りに挑戦してみませんか？芋版画や消しゴムはんこ、絵手紙、筆などいろいろな本を紹介しています。

こんげつのえほん 「クリスマス」

クリスマスにちなんだ絵本を紹介しています。クリスマスをより楽しむための絵本を探してみてください。



カウンター前スペース 「シリーズ本の特集」

中高生向けの読み物の中から、シリーズ物をピックアップして紹介しています。お気に入りの物語をみつけて読破してみたいかがですか？

ここをチェック！！
山陰中央新報の本はともだちというコーナーに不定期ですが、当館の曾田の記事が掲載されます。図書館にある本を紹介していますので注目してください。

11月利用状況報告

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
19年度	6,553	1,696	7,718	69
18年度	6,344	1,826	8,131	51
比較	209	130	413	18

☆11月によく読まれた本☆

【夜明けの街で】

東野 圭吾 角川書店

派遣でやってきた仲西秋葉と不倫の恋に堕ちた渡部。しかし、秋葉は間もなく時効を迎える殺人事件の容疑者だった。犯罪者かもしれない女性との関係に渡部の心境は揺れ動く。果たして秋葉は罪を犯したのか。緊迫のカウントダウン、衝撃のラストシーン。

【楽園】上・下

宮部 みゆき 文藝春秋

あの「模倣犯」から9年。フリーライター・前畑滋子は事件のショックから立ち直れずにいた。そんな滋子のもとに、荻谷敏子という女性が現れた。敏子からの依頼は、12歳で死んだ息子が予知能力者かもしれないのでその真偽を調べて欲しいというものだった...

【思わず使ってしまうおバカな日本語】

深澤 真紀 祥伝社

普段何気なく使っている「言葉」おかしくありませんか？人の物言いにひっかかるときがありませんか？ある言い方、言葉が流行する背景には、その時代、時代の「日本人のメンタリティ」が隠されています。気になる日本語とそこに隠された時代の心理を読み解きます。

【辰巳八景】

山本 一力 新潮社

遠い日の思い人と再会する女性の迷いと喜びを描く「やぐら下の夕照」、売れない戯作者がボロ雪駄の縁で一世一代の恋をする「石場の暮雪」など江戸深川の素朴な泣き笑いを、温かで懐かしい八つの物語。著者の独壇場、人情の時代短編集。

【大好きな雑貨でつくる心地のいい暮らし】

主婦と生活社

心地のいい空気が流れている6人の雑貨好きのインテリアを紹介するほか、雑貨を楽しむアイデア、雑貨の作り方なども掲載。

【初めての人でもよくわかる庭づくり】

安行造園株式会社

タイプ別のプランや立地条件のプランなど、自分の好みにあった庭づくりが楽しめる一冊。今ある庭のリフォームの仕方なども紹介。

図書館職員
オススメの一冊

『いのちのリレー』

川久保美紀／著
ポプラ社

もし、じぶんが病気で余命少ないと宣告されたらどうするだろう。この本は、末期ガンで余命宣告を受けながらも、「いのちの授業」をし続けたある校長先生の生き方を綴ったノンフィクション。その先生は、最期まで気分の体や体験を教材にした、子ども達に命の大切さを伝え続けたそうだ。そして、先生は、本の中で死への恐怖が3つあるんだと吐露している。そのうち2つは、なんとか耐えて克服することができたが、1つはどうしても耐えられないという…。メント・モリ(=死を想え)という言葉が思い出され、涙と一緒に勇気も出てくる1冊だ。

♪ニューイヤーコンサートのお知らせ♪

1月19日(土)の夜7時からニューイヤーコンサートを開催します。“愛”がテーマの安部里子さん(町内在住)のピアノ演奏です。詳しくはチラシなどでお知らせしますので楽しみに！！

広報12月号 図書館特集

広報隠岐の島の12月号に図書館の特集記事が掲載されています。図書館の魅力満載の記事ですので、ぜひご覧ください。また、隠岐の島町のホームページには図書館のイベントなどの情報もありますので、こちらもチェックしてみてください。これからも役場との連携を図り、情報の発信に努めていきたいと思っております。

年末年始の休館のお知らせ

12月28日(金)から1月4日(木)までの8日間は年末年始の休館とさせていただきます。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますがご了承ください。

蔵書点検によるの休館のお知らせ

1月20日(日)から1月25日(金)までの6日間は蔵書点検のため休館とさせていただきます。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますがご了承ください。